

# 白神自然環境研究所教授会議事要旨

日 時：平成29年10月26日（木）14時25分から15時55分  
場 所：総合教育棟2階 大会議室  
出席者：檜垣所長，石川副所長，殿内，山岸，中村，丹波，松山，石田，上條  
欠席者：本多，大高，（いずれも委任状提出），東  
事 務：小田桐，粕谷，肥後

議事に先立ち，所長から9月25日開催の教授会議事要旨（案）の確認が行われ，承認された。

## 【審議事項】

### 1 ひろだい白神レーダーの今後の対応について

兼任担当教員から，資料1に基づき，レーダー設置の背景や目的，レーダーの特徴，レーダーを活用した学生の卒業論文，今後のレーダーの活用方法等について説明があった後，意見交換を行い，次の3事項を中心に継続して審議していくこととした。

- ①2カ月後を目処に農業的な利用を含めたニーズ情報の収集を行うこと。
- ②レーダー修繕費を稼ぐための実績づくりとして，レーダーのオープンデータを活用できるスマホアプリの開発を行い，試行的にでも実施すること。
- ③現在のレーダー状態で，どのような活かし方があるのかを民間の気象予報会社へ相談すること。

## 【報告事項】

### 1 所長報告

所長から，資料2-1～2-3に基づき，概略次の事項について報告があった。

#### (1) 企画戦略会議

- ①第3期中期目標・中期計画，H29年度の進捗状況の確認
- ②大学機関別認証評価
- ③弘前大学での雇用される非常勤職員の雇用期間に関する取扱い  
※技術補佐員の雇用については，白神自然環境研究所再編対応WGで検討する。
- ④「財務健全化計画」の策定に向けた検討状況  
※兼任担当教員から，本計画の意思決定過程を知りたい旨の発言があった。
- ⑤各部局と施設環境部との意見交換（キャラバン）について  
※10月19日に実施済み

主に，観察園内遊歩道の急勾配箇所への対応（5箇所要望の内，3箇所は対応済み），シーズンイン前の遊歩道内の木の伐採，観察園教育研究棟前の木の伐採等を要望

#### (2) 教育研究評議会

- ①クマ出没に伴う入園規制

### 2 平成29年度事業計画について

専任担当教員から，資料3に基づき前回資料から追記した事項等について報告があった。

### 3 白神岳モニタリング稼働状況について

専任担当教員から、プロジェクターを用い、白神岳のモニタリング稼働状況について報告があった。また所長から、本モニタリングのデータは重要な気象データでもあるため、環境省や林野庁に情報提供したい旨の提案があり、了承された。

※一部データは、既に環境省に提供済み。

### 4 シンポジウムの開催について

専任担当教員から、絶滅危惧植物「ガシャモク」が、つがる市（津軽国定公園内に位置する湖沼群）で発見されたのを記念して、シンポジウムを12/11（月）開催する旨の報告があった。

### 5 標本スペース確保について

所長から、弘大コラボ6F自然情報室について、次のとおり報告があった。

- ・今年度限りの契約となっており、次年度以降のスペース確保に苦慮していること。
- ・次年度も契約更新できるか、研究推進部に相談予定であること。
- ・白神自然環境研究所再編対応WGでの検討課題となること。
- ・学外移転の可能性として、社会連携担当理事に相談していること。

### 6 クマ対策について

副所長から、観察園の現在の対策で万が一、入園者に対してクマによる被害があった際の本学の法的な責任の有無について、10月25日（水）顧問弁護士への相談を行った旨の報告があった。

※現在の対策で入園者に被害があった場合、本学への賠償責任は生じない。

### 7 その他

所長から、次回教授会の日程については、あらためて構成員の週間スケジュールを照会した上で、日程を決定したい旨の提案があり、了承された。

以上